

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月20日

伊勢市おひさま児童園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○		他利用者の動きを想定して、自分が利用する部屋の記入をできるようにしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか。	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		壁面に貼り出すことで日頃から目に付くため、保護者の評価を意識するようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			ホームページに自己評価の結果を掲載しているが、見やすいような改善を心がけていきたい。また、園内に自己評価表の掲示を行い、利用者が閲覧できるようにしています。
	7	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか。	○			
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	○		保護者の願い、子どもの現在の姿を照らし合わせ、児発管にも相談しながら作成している。	
	9	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールやアンケート、面談資料などを使用しているか。	○		面談資料や検査結果を常に確認するようにしている。	
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		似たねらいの利用者がいるかどうか、他支援者にも相談する時がある。	
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもの姿の変化をしっかりと捉え、支援内容と合わせながら、毎回の活動内容を考えている。	
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか。	○		似たねらいの利用者の支援計画を参考にさせていただくことがある。	
	13	支援開始前には職員間で必要に応じて打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		支援内容によっては、途中で参加してもらうなど、事前に打合せをしている。	
	14	支援終了後には、職員間で必要に応じて打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		片付け時など、その日の療育内容の良かった点や反省点などについて話をすることが多い。	
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		片付け時など、その日の療育内容の良かった点や反省点などについて話をすることが多い。	
	16	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		支援会議時、支援者間で意見を出し合っている。	
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか。	○			

関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		基本は、児発管や担当者が参画し、会議での情報も紙面にまとめたり口頭で伝達したりして連携できるようにしています。
	19	子どもの様子や支援について、学校との情報共有、学校見学等の連絡調整を適切に行っているか。	○	必要に応じて、学校見学に行ったり、学校の先生方の見学を参考にしている。	コロナ禍により、実施できない部分もあったが、状況に応じて緩和しているため、見学や連携も行っていきます。引き続き、サービス担当者会議及び相談事業所を通してのやりとりや、直接学校との情報共有を行ってまいります。
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	○		対象児がいないため、今は対応していませんが、必要があれば対応します。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○		
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	面談時以外でも、日頃から子どもの様子について話をするところがある。	
保護者への説明責任等	25	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	26	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○	自分の考えをお伝えした上で、他支援者にも意見を求め、次回の療育時にお伝えすることがある。必要に応じては、事業所内相談をお勧めしている。	
	27	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	28	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	各ご家庭に配布するだけでなく、壁面にも貼ることで、日頃から皆さんの目に触れやすいようにしている。	
	29	個人情報にの取り扱いに十分注意しているか。	○		
	30	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	日頃から、世間話のようなことも話をするようにしている。	
	非常時等の対応	31	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	定期的に訓練をし、マニュアルについても保護者がいつでも見られるように準備している。
32		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
33		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	定期的に訓練をし、マニュアルについても保護者がいつでも見られるように準備している。	
34		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○		必要に応じて各チーム会議やスタッフ会議で共有して、今後の対応も話し合っています。虐待防止・身体拘束委員会でも確認しています。現在、対象になる利用者はいませんが、必要に応じて説明の上、個別支援計画にも記載してまいります。
35		食物アレルギーのある子どもについて、保護者や医師の意見に基づき対応がされているか。	○		
36		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○	ヒヤリハット記入後、チーム会議でも伝え、他支援者にも知らせるようにしている。	